

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 尾鷲市	対談項目1 新規採石事業について	<p>新規採石事業については反対であることを先の選挙で明言した。県は既存の採石事業についても指導を強化してほしい。新規の採石事業については、司法にゆだねられているが、水産業者や市民の理解が得られないのは明らかであり、格段に慎重な対応をお願いしたい。また、国に対して採石法改正に向けた働きかけを行うとともに罰則等を含めた規制等の制定をお願いしたい。</p>	<p>既存採石事業者への指導強化については、年1回の立ち入り調査を引き続き行っていく。また、経産省の「採石災害防止技術指導制度」を活用し、賀田地区の3事業者に対し学識経験者による現地指導を行う予定である。併せて、県議会において、平成24年第2回定例会で採択された請願の趣旨に基づいて、流域漁業団体との合意形成に努力するよう採石事業者に働きかけを行っている。新規の採石事業については、係争中で慎重に検討する必要があり現時点で判断できる状況にない。採石法の改正は、地域の特性に応じた対応ができるよう国へ働きかけるが、改正には相当な期間を要するので、環境保全条例等の整備なども検討してほしい。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2 尾鷲市	対談項目2 医師の確保について		尾鷲病院は、24時間365日の救急体制を維持するため、三重大附属病院、伊勢赤十字病院と連携して頑張っている。三重大附属病院、伊勢赤十字病院、兵庫医科大学病院から支援を受けているが、常勤医師の確保は難しい。平成29年度地域枠で医師を確保できれば若干楽になると言われているが、東紀州へ自治医大卒の医師の派遣をお願いしたい。	自治医大の医師派遣は当面難しい。バディ・ホスピタルなどを活用し効果的な配置を考えていきたい。自治医大卒は、各県2～3名、9年間知事の指定する医療機関で勤務することで学費の返還が免除され、県では、10名へき地への派遣を行っている。平成25年度は、キャリアサポート制度を合わせ、12名を総合診療医として7医療機関に派遣しており、ローテーションを組んでいる。今後、数年間は派遣可能な人員の減少が見込まれており、新たな派遣先の設定は難しい。その他の制度で支援していきたい。また、医師の需給調査を予定しており、その結果を踏まえ確保を考えていきたい。
3 尾鷲市	対談項目3 防災対策について	防災対策の推進について	南海トラフ地震では、尾鷲は震度7、津波は1.7mになる想定であり、最善を尽くさなければいけない。その中で、地域減災力強化推進補助金の対象拡大や補助率のアップをお願いしたい。また、いざというときヘリコプターの重要性は高いが、400リットル1時間分の備蓄しかないため、防災拠点へ備蓄燃料保管と燃料庫の設置をお願いしたい。	補助金については、平成25年度は3億2千万を確保したが、それを上回る要望があり、補助率、上限額をアップするとどこかを削らざるを得ないので難しい。沿岸19市町では、地震対策を広く早くしなければいけないので、国の動向なども見ながらご相談したい。防災ヘリは2時間飛行できるが、尾鷲での活動は1時間しかできないので重要な課題である。ただ、燃料は品質基準が厳しく長く持たないので分散が難しい。来年度予算で真剣な議論をして検討する。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 尾鷲市	対談項目3 防災対策について	病院の防災対策について	尾鷲総合病院へDMAT1隊を養成したが、資機材は未整備であり、被災者のトリアージや処置のため、県で野営テント等の整備を行ってほしい。	尾鷲総合病院の野営テント等について、県で全部整備するのは難しい。災害拠点病院体制強化事業で2/3補助があるので活用してほしい。
5 尾鷲市	対談項目4 高速道路延伸に伴うまちづくり	道の駅について	道の駅の整備を計画しており、熊野尾鷲道路の尾鷲南ICのフルインター化について国交省へ要望したところであり、支援をお願いしたい。	熊野尾鷲道路は三木里～大泊が開通して1週間で通行量が1.4倍になった。ストロー現象を心配する人がいるが、武器にもなる。道の駅については勉強会を持つと聞いているので、そこで十分検討いただきたいと思います。われわれもそれについては支援していきたい。また、必要性、効果などについても検討を行っていただきたい。
6 尾鷲市	対談項目4 高速道路延伸に伴うまちづくり	熊野古道シャトルバスについて	来年度、熊野古道の世界遺産登録10周年を迎え、ご助力をいただいているシャトルバスについて、熊野古道の集客に大きく寄与しているところであるので熊野市も紀北町も要望しているが、来年度以降も運行をお願いしたい。	シャトルバスは前年比で15.2%増になった。平成26年度は世界遺産登録10周年の年でもあり、熊野市さん、紀北町さんからも要望があるので、来年度も継続できるよう、しっかり確保していきたい。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
7 尾鷲市	対談項目4 高速道路延伸に伴うまちづくり	みえライフイノベーション総合特区について	みえライフイノベーション総合特区の事業推進にあたり、地域拠点として参加させていただきありがたい。今後は、製品開発や研究開発により、企業や事業を誘致したい。ただ、平成26年度から経産省の補助金がなくなるので、支援をお願いしたい。また、当院と三重大で高血圧の臨床研究を行っており、ゲノムに対する臨床治験もはじまるので支援をお願いしたい。	みえライフイノベーション総合特区は、平成26年度予算において経産省が概算要求を行っていることから、国の財政的支援について要望していきたい。
8 尾鷲市	対談項目5 みえ森と緑の県民税関連について		森林の機能を維持するためには間伐が効果的だが、尾鷲市では滞っている。みえ森と緑の県民税で事業拡大はできないか。税は環境だけでなく林業振興で税は使えないのか。また、バイオマスについて、体制確立までの間、みえ森と緑の県民税を財源として引き続き事業実施を要望する。	みえ森と緑の県民税は、災害に強い森林対策に活用することとしており、直接林業振興には難しい。間伐に対する支援については、既存事業で引き続き対応していきたい。なお、バイオマスについては、新たな視点でということであれば、市町交付金事業としてご検討いただけるようになっている。